

**テーマ設定の理由**：日頃生活の中で身近な存在である水に触れ、様々な感触を味わったり温度の違いに気づいたりしていた。園庭で飼育している金魚の水槽の水温が日によって変化することやその原因を予想するなど興味を示していたので、水の性質について探求を深め、より一層興味関心が広がるようにするため

## 事例①：浮くかな？沈むかな？

**活動のねらい**：身近な物の浮き沈みを試し、大きさや重さによる結果の違いに興味をもつ

**活動内容**：身近にある様々なものを水槽に入れ、浮き沈みを確かめる

**用意した環境**：水槽、ボール、ブロック、りんご、風船、ペットボトルなど



### 子どもたちの様子

- 身近にある物を水槽に入れてみて、空のペットボトルを入れると浮くが、中に水を入れると沈むことから、物の重さの変化で浮き沈みが変わってくることに不思議さを感じていた。質量が変わることで沈む速さなどにも違いがあることにも気づいていた
- 予想してから試す楽しさを味わいながら、予想と結果が違うと、理由を考えたり、繰り返し試したりする様子があり、友達と予想を伝えあいながら活動を深めていた

### 保育者の振り返りと気づき

物の浮き沈みの結果の写真を振り返ることで、子どもたちは試したことを思い出し「どうしてだろう？」と考え、繰り返し楽しんでいった。「浮く・沈む」だけでなく「溶ける・溶けない」といった水の性質にも気づき、関心が広がっていく様子が見られた

## 事例②：シャボン玉ショー

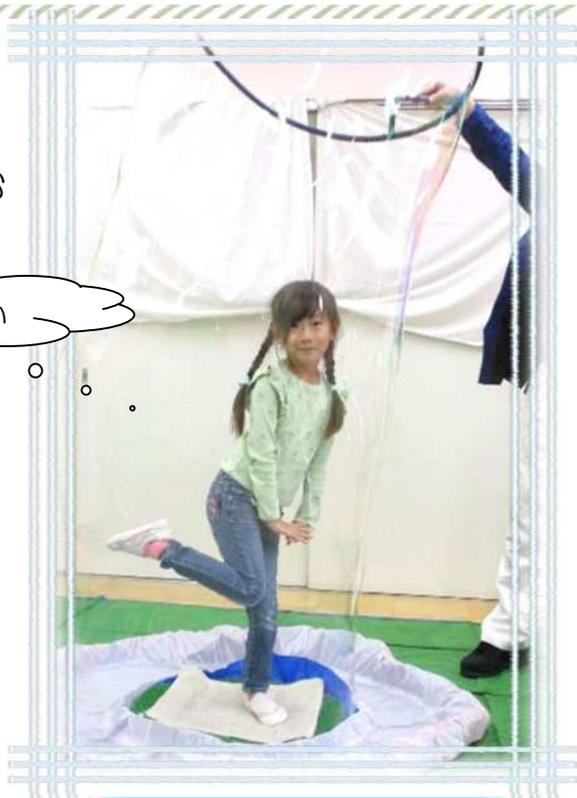
活動のねらい：シャボン玉ショーに参加し、形の変化による不思議さや動きの面白さに気づき、発見を楽しむ

活動内容：シャボン玉ショーを観たり、大きなシャボン玉の中に入る体験をしたりする

用意した環境：シャボン玉ショーを園に招待する



大きいシャボン玉すごい



### 保育者の振り返りと気づき

- ・シャボン玉に囲まれる体験は、普段ではなかなかできないため、子どもたちにとって良い経験となった。今回は完成したシャボン玉に触れて楽しんだが、大きさや形に触れて興味を示していた。今後は自分たちでシャボン玉液を作るところから活動に取り入れていきたい
- ・吹く道具にも、反応が見られたため、身の回りにある物を探し、シャボン玉の吹く道具として使用する活動にもつなげていきたい

### 子どもたちの様子

- ・シャボン玉が室内でできることや、様々な大きさのシャボン玉が次々出てくる様子に歓声を上げ、夢中になって見ていた。「どうして大きいのができたの？」などと、感じたことや気づいたことを友達や保育者に伝えていた
- ・吹く道具として身近なものを使っていることに興味をもち、どのような形でシャボン玉が出てくるのかを予想したり、自分の体より大きなシャボン玉に入ることにドキドキ・わくわくしたりしながら楽しんでいた

## 事例③：シャボン玉液を作って試そう！

**活動のねらい：**シャボン玉液を作って試す中で材料や分量、道具による違いに気づく

**活動内容：**作ったシャボン玉液を身近なものを使って吹く

**用意した環境：**食用洗剤、洗濯のり、水、砂糖、たらい、ストロー、ハンガー、ハエたたき、井形ブロック、紐、うちわ、フラフープ



### 保育者の振り返りと気づき

・身近なものを使って試す中で、シャボン玉になる・ならないの違いに気づき、配合を変えながら繰り返し挑戦していた。また、友達の様子を見たり、言葉を交わしたりすることで新しい発想が広がっていた

・子どもたちが自分で気づき、考え、試す過程を丁寧に受け止め大切にしながら、探求することや友達とのやりとりがさらに深まるよう、声掛けや環境作りを工夫していきたい



### 子どもたちの様子

- ・家や保育園にある身近なものを混ぜて吹いてみると、シャボン玉になることに不思議さを感じていた。それぞれの分量の違いにも興味をもち、「これはどの位入れたらいいかな」などと、考えながら混ぜる姿があった
- ・自分で見つけた道具を液につけ、シャボン玉になるかどうか試し、友達と考えを伝え合いながら夢中になって楽しんでいた

どれくらいおおきくなるかな

